

認定権者記載欄		

様式第3-④

中小企業信用保険法第2条第5項第3号の規定による認定申請書		
令和 年 月 日		
山 口 市 長 殿		
申請者 住 所		
氏 名 (※)		
(※) 本人(代表者)が手書きしない場合は、記名押印してください。		
私は表に記載する業を営んでいるが、 (注2) の発生に起因して、下記のとおり、経営の安定に支障が生じておりますので、中小企業信用保険法第2条第5項第3号の規定に基づき認定されるようお願いいたします。		
(表)		
※表には営んでいる事業が属する業種(日本標準産業分類の細分類番号と細分類業種名)を全て記載(当該業種は全て指定業種であることが必要)。当該業種が複数ある場合には、その中で、最近1年間で最も売上高等が大きい事業が属する業種を左上の太枠に記載。		
記		
1 事業開始年月日	年 月 日	
2 (1) 売上高等		
(イ) 最近1か月間の売上高等		
$\frac{B-A}{B} \times 100$	指定業種の減少率	% (実績)
A: 災害等の発生後における最近1か月間の売上高等 (年 月)	全体の減少率	% (実績)
	指定業種の売上高等	円
	全体の売上高等	円
B: 災害等の発生直前3か月間における月平均売上高等 (年 月 ~ 年 月)	指定業種の売上高等	円
	全体の売上高等	円
(ロ) 最近3か月間の売上高等の実績見込み		
$\frac{D-(A+C)}{D} \times 100$	指定業種の減少率	% (実績見込み)
C: Aの期間後2か月間の見込み売上高等 (年 月 ~ 年 月)	全体の減少率	% (実績見込み)
	指定業種の見込み売上高等	円
	全体の見込み売上高等	円
D: 災害等の発生直前3か月間の売上高等 (年 月 ~ 年 月)	指定業種の売上高等	円
	全体の売上高等	円
3 売上高等が減少し、又は減少すると見込まれる理由		

第 号

令和 年 月 日
申請のとおり相違ないことを認定します。
令和 年 月 日から令和 年 月 日まで (注3)
山口市長 伊藤 和貴

(注1) 本様式は、指定業種と非指定業種を兼業している場合であって、指定業種及び申請者全体双方の売上高等の減少率が認定基準を満たす場合に使用する。

(注2) には、「災害その他突発的に生じた事由」を入れる。

(注3) 信用保証協会への申込期間を指す。

(留意事項) ① 本様式は業歴1年1か月未満の場合あるいは前年以降、事業拡大等により前年比較が適当でない特段の事情がある場合に使用します。

② 本認定とは別に、金融機関及び信用保証協会による金融上の審査があります。

③ 認定を受けた日から30日以内に金融機関又は信用保証協会に対して、保証の申込みを行うことが必要です。

売上等推移表

☐ 売上高 ☐ 販売数量（建設業の場合は、完成工事高又は受注残高）

※どちらかを選択してください。

(単位：円、数量)

最近3か月の売上高等 (年 月～ 年 月)			災害等発生直前の売上高等 (年 月～ 年 月)			
実績 見込み	最近月 月	A	実績	直前-2月 月		月平均 B
	最近+1月 月			直前-1月 月		
	最近+2月 月			直前月 月		
3か月の合計 (実績+見込み)		A+C	3か月の合計 (実績)		D	
2か月の合計 (見込み)		C				

(※) 災害発生直前の平均売上高等については、原則として災害発生直前3か月間の平均とするが、災害発生直前の売上高を把握できる期間が3か月に満たない場合は、その期間における平均売上高とする。

上記のとおり相違ありません

年 月 日

住 所 _____

氏 名 _____ (※)

(※) 本人(代表者)が手書きしない場合は、記名押印してください。

(注) 認定申請にあたっては、法人(個人)の实在が確認できる資料(法人登記簿謄本又は抄本の写し、個人については、確定申告書の写し等)と上記の売上高等が確認できる資料(売上台帳等)が必要となります。